

2020年東海圏新築マンション契約者動向調査

～平均購入価格は4,297万円で、2003年以来、過去最高に
平均専有面積は72.6㎡で、2003年以来、過去最低に～

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村吉弘）の住まい領域の調査研究機関であるSUUMOリサーチセンターでは、新築分譲マンション市場の実態をつかむために、東海圏の新築分譲マンション契約者を対象とした調査を、2004年より実施しております（09～16年は調査中断）。この度、2020年に契約された方の動向を取りまとめました。時系列比較をしながら、概要をご報告いたします。

1. 子供あり世帯が31%で2003年以降最も少なく、シングル世帯は19%で2003年以降最も多い（P5）

▶ 世帯主の平均年齢は37.5歳で、2019年とほぼ同じ（P4）

2. 既婚世帯の共働き比率は66%、2018年以降ほぼ同じ(p6)

3. 平均世帯総年収は、2019年より92万円上昇し、849万円に(p7)

▶ 総年収1,000万円以上の既婚共働き世帯が、全体の12%。（P8）

4. 名古屋市（中区、東区以外）の購入割合が56%、2019年より増加(p9)

5. 平均購入価格は4,297万円で、2003年以降で最も高く、平均専有面積は72.6㎡で、2003年以降で最も小さい(p11,12)

6. 自己資金比率は平均16.0%、2003年以降で最も低い(p14)

▶ ローン借入総額は平均3,911万円、2005年以降で最も高い。（P15）

▶ 世帯主と配偶者のペアローンが、全体で16%、既婚・共働き世帯では26%。（P16）

7. 「資産を持ちたい、資産として有利」という購入理由が、2003年以降で最も多い（p17）

▶ 通勤利便や居住空間のゆとりなどを求めた割合が、2019年より増加（P18）

▶ 「最寄り駅からの時間」の重視度が、2003年以降で最も高い（P19）

8. 中古マンション並行検討率48% 2003年以降で最も高い(p20)

調査概要	3
1. 契約世帯主の属性 年齢	4
2. 契約世帯主の属性 ライフステージ	5
3. 契約世帯主の属性 共働き比率	6
4. 契約世帯主の属性 世帯総年収	7
5. 契約世帯主の属性 共働き世帯の年収詳細	8
6. 購入物件所在地	9
7. 購入物件所在地 契約前住所別推移	10
8. 購入価格	11
9. 専有面積	12
10. 購入価格と専有面積（購入エリア別）	13
11. 自己資金比率	14
12. ローン借入額	15
13. ローン契約形態	16
14. 住まいの購入理由	17
15. 暮らし方のイメージ	18
16. 重視項目	19
17. 検討住宅種別	20

- **調査目的** 東海圏新築分譲マンション契約者の購入物件・購入行動・購入意識など購入動向を把握する
- **調査対象**
 - ▽ 2020年1月～2020年12月の東海圏(愛知県・岐阜県・三重県)新築分譲マンション購入契約者
 - ※ 2020年1月～2020年12月の契約者の確認方法…回答票に契約書等(契約日・物件所在地が確認できる書類)コピーの添付を依頼(調査協力依頼①③の方のみ)
- **調査方法**
 - ▽ 協力依頼
 - ①東海圏各種メディアを通して調査対象者へ協力依頼
↳ 電車内広告/SUUMO新築マンション/SUUMO(Web) / スーモカウンター/インターネット広告
 - ②マンション分譲会社での契約会などを通して調査対象者へ協力依頼
 - ③調査対象の入居済み新築マンションに、協力依頼書と調査票を投函
 - ▽ 調査方法 ①はWeb調査 ②③はWeb調査と郵送調査の併用
- **集計対象期間** 2020年1月～2020年12月
- **集計数** 計379件
 - ▽ 東海圏での調査は2004年から始まったが、調査中断などの理由でサンプルが少ない年がある。そのため、集計対象年度は2003～2008年、2017年～2020年とした。
 - ▽ 経年のデータについて…年によって調査方法や対象の物件種別は異なるが、各年とも新築マンション契約者のサンプルのみで集計している。また、基本的には調査開始以降全てのデータを掲載しているが、途中から調査するようになった設問もあるため、経年データの開始年は設問によって異なる。
 - ▽ 2003年～2006年は、全住宅購入契約者を対象とした調査(項目は全物件種共通)を一次調査、新築マンション契約者のみを対象とした調査を二次調査として実施。2007年からは一次・二次をまとめ、一括で実施。2009年4月からは調査対象を新築マンション契約者のみに限定して、調査を実施している。

調査	有効サンプル数	調査発表	調査	有効サンプル数	調査発表
2019年契約者	305件	/	2010年契約者		/
2018年契約者	305件		2009年契約者		
2017年契約者	304件		2008年契約者	110件	
2016年契約者	131件		2007年契約者	232件	
2015年契約者	2件		2006年契約者	209件(うち二次調査:209件)	
2014年契約者			2005年契約者	122件(うち二次調査:111件)	
2013年契約者			2004年契約者	187件(うち二次調査:183件)	
2012年契約者			2003年契約者	117件(うち二次調査:113件)	
2011年契約者			2002年契約者	20件(うち二次調査:20件)	

※調査開始は2004年、2009年～2016年は中断期間があり、2017年に再開。
 ※2002～2003年契約者分は2004年以降、2015年～2016年契約者分は2017年以降の調査で回収。2002年、2015年はn数が少ないため、2016年は調査再開直後の回収で偏りが考えられるため、集計対象外。

エリア区分は市区郡を元に次のように分類している：

名古屋市(中区、東区)	【愛知県】	名古屋市中区、東区
名古屋市(中区、東区以外)	【愛知県】	名古屋市の上記以外の区
愛知県(尾張エリア)	【愛知県】	愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、豊明市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、日進市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡、海部郡、知多郡、みよし市、あま市、長久手市、豊橋市、岡崎市、豊川市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、高浜市、知立市、田原市、額田郡
愛知県(三河エリア)	【愛知県】	
岐阜県	【岐阜県】	(全域)
三重県	【三重県】	(全域)

※調査データを引用する際は、「2020年東海圏新築マンション契約者動向調査(株式会社リクルート)」と明記をお願いいたします。

1. 契約世帯主の属性 年齢

● 世帯主の平均年齢は37.2歳で、2019年とほぼ同じ

- ◇ 契約世帯の世帯主年齢は、「30～34歳」が最も多く26%。2019年より7ポイント減少し、「20代」が6ポイント増加した。平均年齢は37.2歳で、2019年とほぼ同じ。
- ◇ ライフステージ別にみると、夫婦のみ世帯の平均年齢は33.0歳、子供あり世帯は35.9歳である。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別にみると、共働きをしている方が平均年齢は低く、34.6歳である。
- ◇ 首都圏、関西圏と比べて、20代の割合が高くなっている。

■ 契約時世帯主年齢(全体／実数回答)

		20代	30～34歳	35～39歳	40代	50代	60歳以上	無回答	平均(歳)
●凡例									
2020年契約者全体 (n= 379)		21.9	26.4	18.7	19.5	8.4	4.2	0.8	37.2
2019年契約者全体 (n= 305)		15.7	33.1	20.0	19.3	7.5	3.3	1.0	37.3
2018年契約者全体 (n= 305)		18.7	33.1	22.3	14.4	5.2	4.6	1.6	36.6
2017年契約者全体 (n= 304)		11.5	34.9	19.7	21.1	8.9	3.6	0.3	38.0
※2009～2016年はデータなし									
2008年契約者全体 (n= 110)		17.3	26.4	28.2	22.7	2.7	2.7	—	36.6
2007年契約者全体 (n= 232)		13.8	37.1	26.3	15.9	5.6	1.3	—	36.0
2006年契約者全体 (n= 209)		18.2	37.3	20.1	16.3	5.7	1.9	0.5	35.9
2005年契約者全体 (n= 122)		18.0	31.1	23.0	18.0	6.6	2.5	0.8	36.3
2004年契約者全体 (n= 187)		18.7	30.5	23.0	17.6	7.0	2.7	0.5	36.7
2003年契約者全体 (n= 117)		12.0	33.3	22.2	27.4	5.1	—	—	36.5
ライフ ステージ 別	シングル男性世帯 (n= 29)	20.7	10.3	27.6	13.8	20.7	6.9	—	40.5
	シングル女性世帯 (n= 43)	16.3	16.3	18.6	34.9	11.6	2.3	—	39.1
	夫婦のみ世帯 (n= 142)	31.7	35.9	12.7	19.0	—	—	0.7	33.0
	子供あり世帯 (n= 117)	15.4	32.5	27.4	19.7	3.4	1.7	—	35.9
	シニアカップル世帯 (n= 22)	—	63.6	—	36.4	—	—	—	58.4
共働き 状況別	既婚・共働きしている (n= 185)	25.9	35.7	16.2	15.7	5.4	1.1	—	34.6
	世帯総年収1000万円以上 (n= 41)	19.5	31.7	19.5	19.5	9.8	—	—	36.2
	世帯総年収1000万円未満 (n= 110)	30.9	38.2	17.3	10.9	2.7	—	—	32.9
	既婚・共働きしていない (n= 96)	15.6	24.0	20.8	21.9	8.3	8.3	1.0	39.4
【参考】	2020年首都圏契約者全体 (n=5139)	16.3	29.6	22.7	19.7	6.6	4.5	0.6	37.7
	2020年関西圏契約者全体 (n= 974)	14.7	30.1	20.7	18.0	9.8	6.3	0.5	38.8

※n数が100未満の категорияについては参考値。

(単位: %)

5-01-01

※ライフステージ別の区分についてはp5参照。共働き状況別についてはp6参照。

2. 契約世帯主の属性 ライフステージ

- 子供あり世帯が31%で2003年以降最も少なく、シングル世帯は19%で2003年以降最も多い(09~16年データなし)

- ◇ 契約世帯のライフステージでは、「子供あり世帯計」31%、「夫婦のみ世帯」38%、「シングル世帯計」19%である。2003年以降のデータのある範囲でみると、「子供あり世帯計」の割合は最も低くなり、「シングル世帯計」の割合は最も高くなった。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別にみると、共働きをしている世帯では、「夫婦のみ世帯」が6割を占めている。
- ◇ 首都圏、関西圏と比べて、「子供あり世帯計」の割合が低い。

■ ライフステージ(全体/単一回答)

	シングル世帯		夫婦のみ世帯	子供あり世帯			その他・不明	シングル世帯計	子供あり世帯計
	シングル男性世帯	シングル女性世帯		第一子小学校入学前世帯	第一子小学生以上世帯	シニアカップル世帯			
●凡例									
2020年契約者全体 (n= 379)	7.7	11.3	37.5	25.3	5.5	5.8	6.9	19.0	30.9
2019年契約者全体 (n= 305)	7.5	4.9	36.7	32.8	6.6	4.6	6.9	12.5	39.3
2018年契約者全体 (n= 305)	7.2	4.6	34.8	33.4	9.2	4.6	6.2	11.8	42.6
2017年契約者全体 (n= 304)	3.3	5.9	26.0	44.4	7.9	6.6	5.9	9.2	52.3
※2009~2016年はデータなし									
2008年契約者全体 (n= 110)	3.6	9.1	30.9	36.4	11.8	1.8	6.4	12.7	48.2
2007年契約者全体 (n= 232)	3.4	4.3	28.9	41.8	13.8	2.6	5.2	7.8	55.6
2006年契約者全体 (n= 209)	4.3	2.4	29.2	34.4	16.3	3.8	9.6	6.7	50.7
2005年契約者全体 (n= 122)	8.2	4.9	34.4	34.4	8.2	3.3	6.6	13.1	42.6
2004年契約者全体 (n= 187)	5.3	7.0	27.3	35.3	15.5	2.7	7.0	12.3	50.8
2003年契約者全体 (n= 117)	4.3	1.7	35.0	32.5	18.8	2.6	5.1	6.0	51.3
購入物件所在地別									
名古屋市(中区、東区) (n= 71)	8.5	19.7	29.6	22.5	7.0	7.0	5.6	28.2	29.6
名古屋市(中区、東区以外) (n= 212)	8.0	9.4	39.6	24.5	5.2	6.1	7.1	17.5	29.7
愛知県(尾張エリア) (n= 47)	6.4	6.4	42.6	25.5	4.3	6.4	8.5	12.8	29.8
愛知県(三河エリア) (n= 33)	6.1	3.0	39.4	36.4	9.1	6.1	6.1	9.1	45.5
岐阜県 (n= 13)	7.7	—	38.5	23.1	23.1	—	7.7	46.2	23.1
三重県 (n= 3)	—	—	33.3	33.3	—	—	33.3	—	33.3
共働き状況別									
既婚・共働きしている (n= 185)	—	—	60.0	29.2	4.9	5.9	—	—	34.1
世帯総年収1000万円以上 (n= 41)	—	—	53.7	34.1	2.4	9.8	—	—	36.6
世帯総年収1000万円未満 (n= 110)	—	—	66.4	26.4	4.5	2.7	—	—	30.9
既婚・共働きしていない (n= 96)	—	—	32.3	43.8	12.5	11.5	—	—	56.3
【参考】									
2020年首都圏契約者全体 (n=5139)	5.8	8.6	35.6	29.7	9.0	4.9	6.4	14.4	38.7
2020年関西圏契約者全体 (n= 974)	4.6	11.5	34.0	27.3	10.2	6.5	6.0	16.1	37.5

※n数が100未満の категорияについては参考値。

(単位: %)

5-01-02

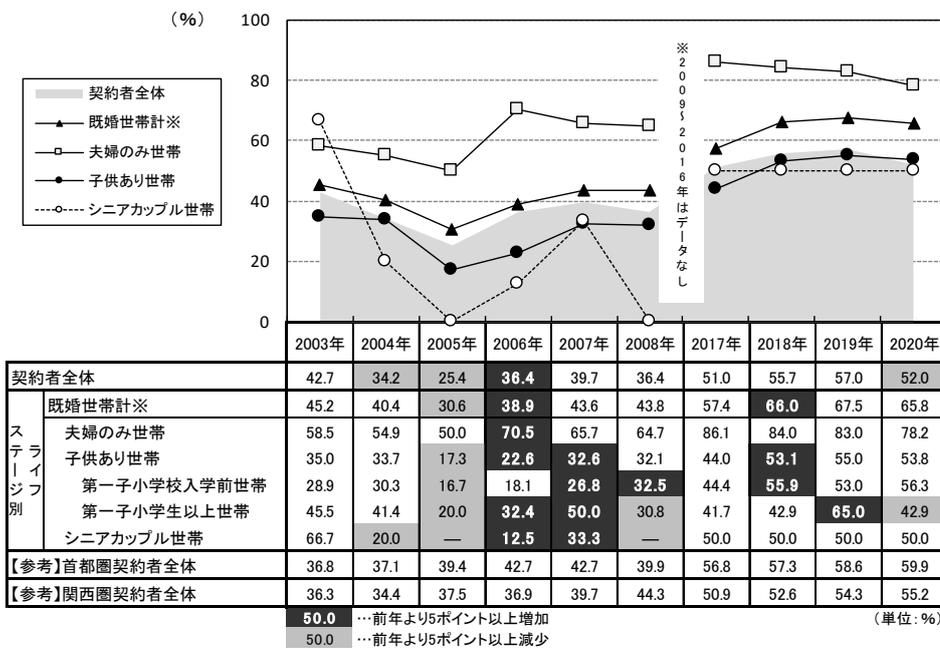
※「シニアカップル世帯」は、世帯主年齢が50歳以上の夫婦のみ世帯
 ※購入物件所在地別の区分についてはP3参照。

3. 契約世帯主の属性 共働き比率

● 既婚世帯の共働き比率は66%、2018年以降ほぼ同じ

- ◇ 契約世帯全体に占める共働き世帯の割合は52%。既婚世帯では66%で、2018年以降はほぼ同じである。
- ◇ さらに詳しくみると、夫婦のみ世帯の共働き比率は78%、子供あり世帯は54%である。

■ 共働き比率(全体/単一回答)



【参考】調査数	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2017年	2018年	2019年	2020年
契約者全体	117	187	122	209	232	110	304	305	305	379
既婚世帯計※	104	151	98	175	202	89	258	250	246	281
夫婦のみ世帯	41	51	42	61	67	34	79	106	112	142
子供あり世帯	60	95	52	106	129	53	159	130	120	117
第一子小学校入学前世帯	38	66	42	72	97	40	135	102	100	96
第一子小学生以上世帯	22	29	10	34	32	13	24	28	20	21
シニアカップル世帯	3	5	4	8	6	2	20	14	14	22
【参考】首都圏契約者全体	4,616	3,743	2,439	3,536	2,847	2,431	4,768	3,760	4,931	5,139
【参考】関西圏契約者全体	1,648	1,146	1,248	1,603	1,035	1,071	1,160	1,125	1,024	974

(単位: 人)

※n数が100未満のカテゴリについては参考値。

5-01-10

※共働き比率…雇用形態の設問に対し、世帯主・配偶者ともに下記①～⑥のいずれかに該当する者を「共働き」とした。

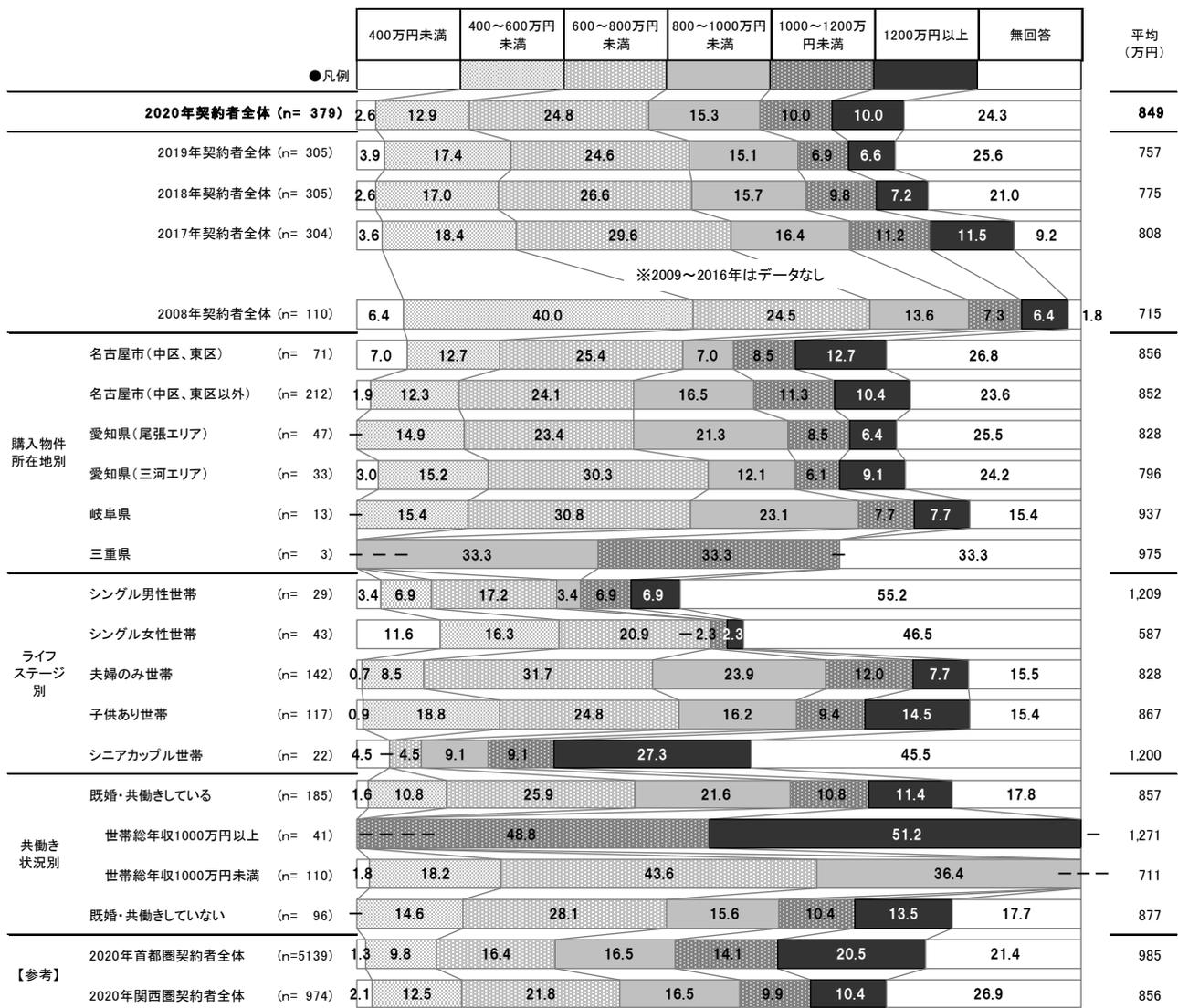
①正社員 ②契約社員 ③公務員・団体職員 ④自営業 ⑤医師・弁護士・税理士・会計士等 ⑥アルバイト・パート ⑦主婦 ⑧学生 ⑨無職 ⑩その他
 ※既婚世帯計…ライフステージの「シングル世帯」と「その他・不明」を除いたサンプルの合計

4. 契約世帯主の属性 世帯総年収

● 平均世帯総年収は、2019年より92万円上昇し、849万円に

- ◇ 契約世帯の総年収は「600～800万円未満」が最も多く25%。以下、「800～1,000万円未満」（15%）、「400～600万円未満」（13%）と続く。平均は849万円で、2019年より92万円高くなった。
- ◇ 平均世帯総年収は、関西圏（856万円）とほぼ同じである。

■ 世帯総年収（全体／実数回答）



※n数が100未満の категорияについては参考値。

(単位: %)

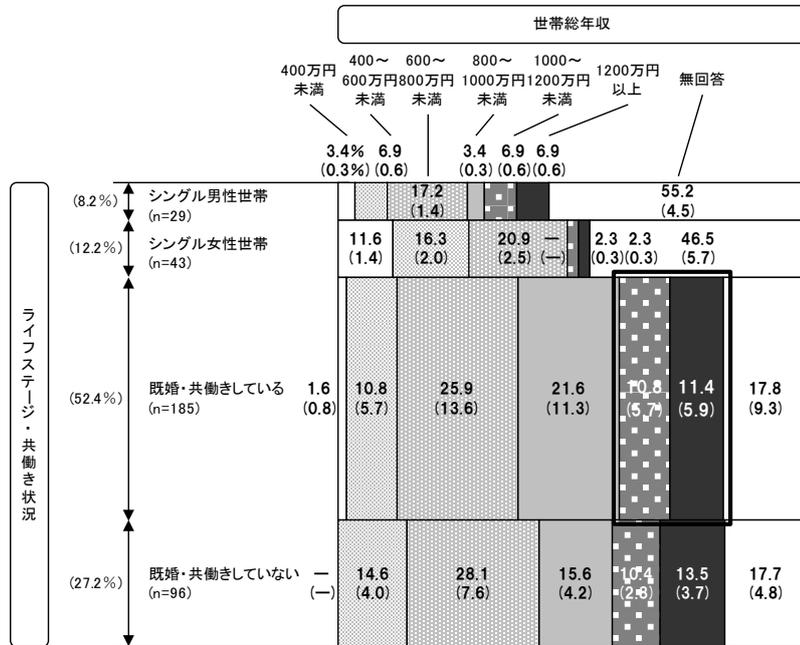
5-01-03

※実数回答形式での世帯総年収は2008年からの設問のため、2008年からのデータ掲載となっている。
 ※調査票では、「Q.住宅ローン返済者全員の合計の税込年収はどのくらいですか」と尋ねている。

5. 契約世帯主の属性 共働き世帯の年収詳細

- 総年収1,000万円以上の既婚共働き世帯が、全体の12%

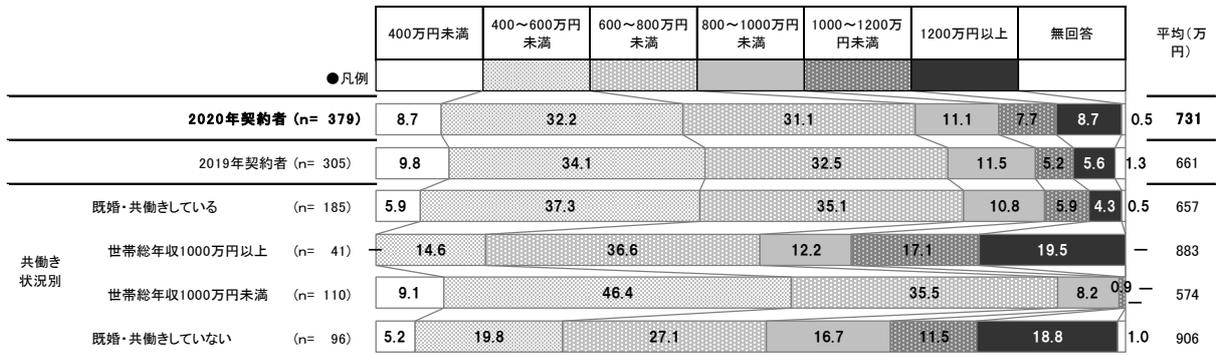
■ 世帯総年収（ライフステージ分類不能サンプルを除く n 353 / 実数回答）



(単位: %)
5-01-03-1

※調査票では、「Q.住宅ローン返済者全員の合計の税込年収はどのくらいですか」と尋ねている。
※上記の面積グラフは、()内の%がn353に占める割合、()上の%は各ライフステージや共働き状況の中での割合を示す。

■ 世帯主年収（全体／実数回答）

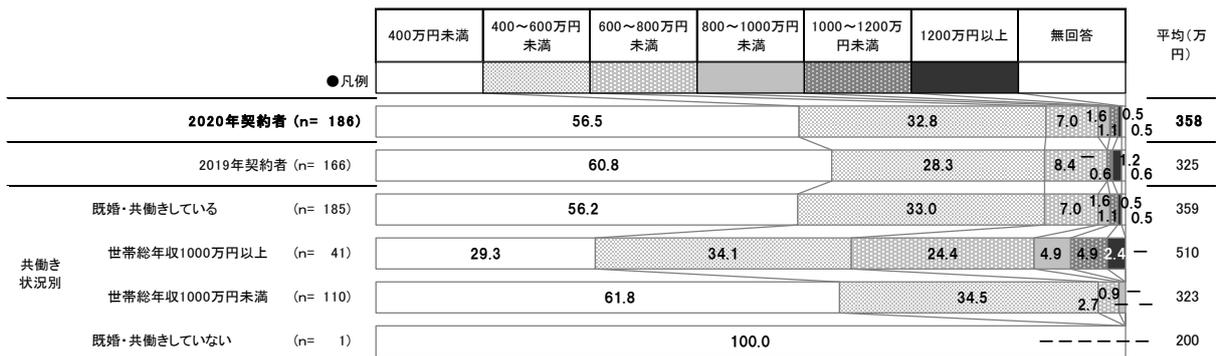


※n数が100未満のカテゴリーについては参考値。

(単位: %)

5-01-11-3

■ 配偶者年収（既婚世帯&配偶者が働いている／実数回答）



※n数が100未満のカテゴリーについては参考値。

(単位: %)

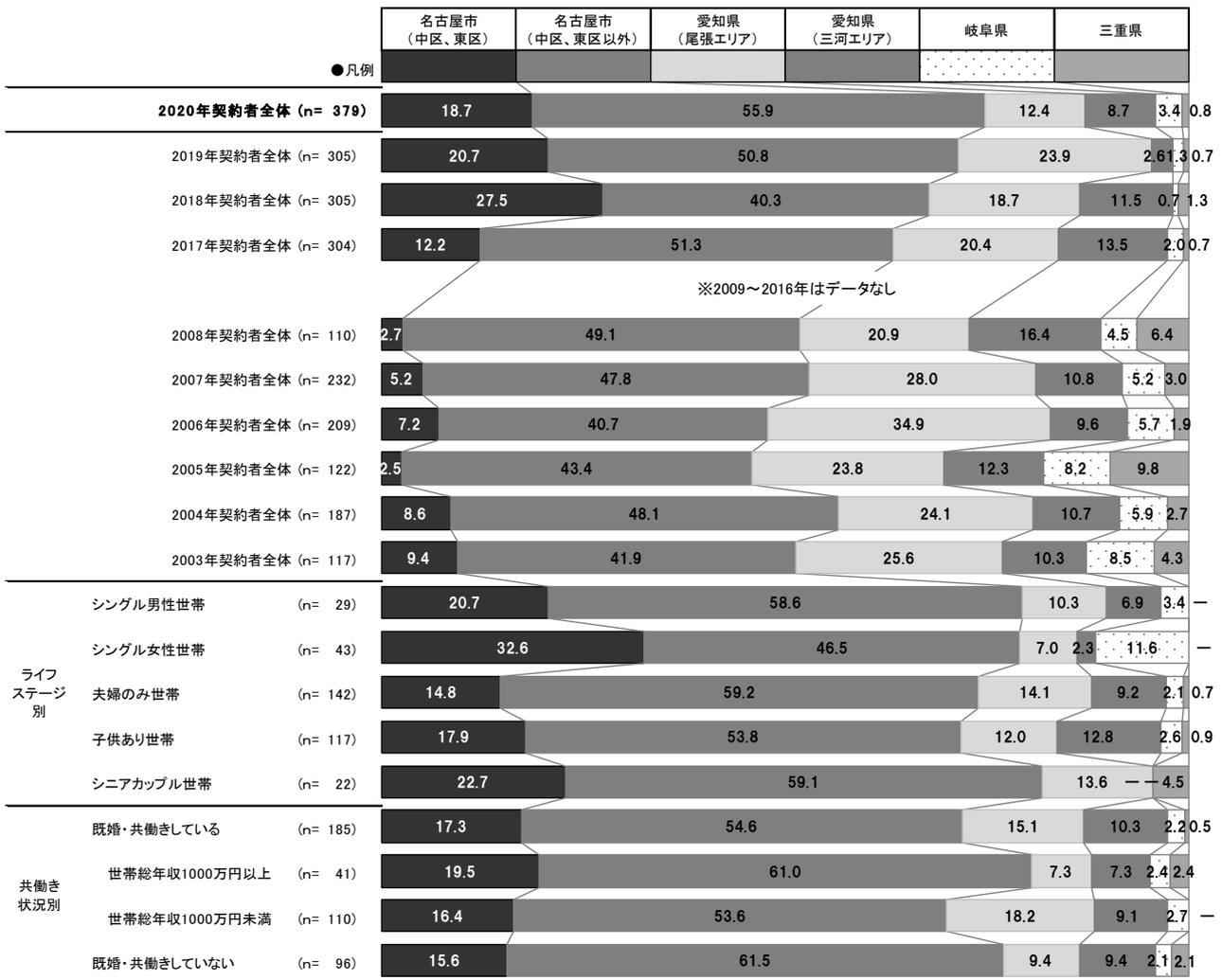
5-01-11-4

6. 購入物件所在地

● 名古屋市（中区、東区以外）の購入割合が56%、2019年より増加

- ◇ 購入した物件の所在地では、「名古屋市（中区、東区以外）」が最も多く56%、次いで、「名古屋市（中区、東区）」が19%である。2019年と比べて、「名古屋市（中区、東区以外）」「愛知県（三河エリア）」の割合が増加した。
- ◇ ライフステージ別にみると、夫婦のみ世帯では「名古屋市（中区、東区以外）」、子供あり世帯では「愛知県（三河エリア）」の割合が、全体に比べてやや高くなっている。

■ 購入物件所在地(全体／単一回答)



※n数が100未満の категорияについては参考値。

(単位：%)
5-02-01

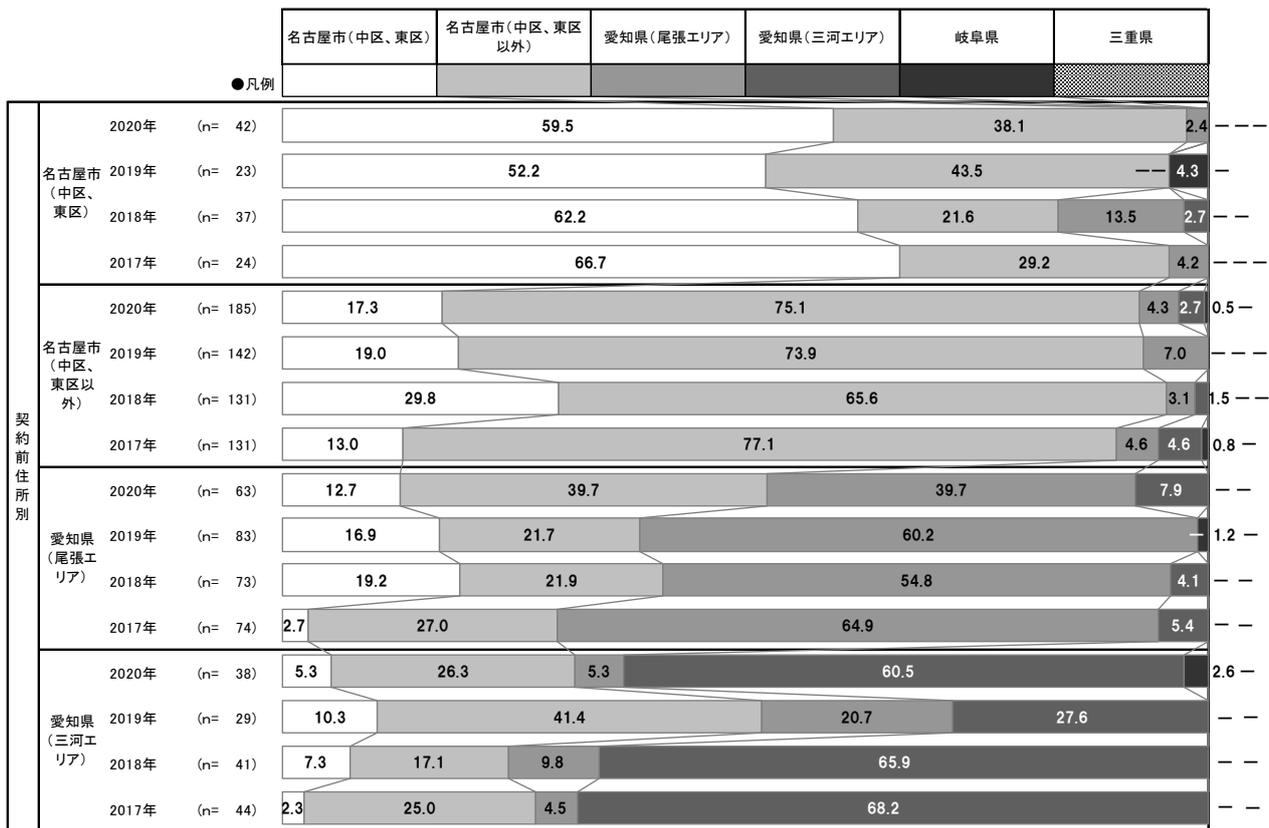
※エリア区分についてはp3参照。

7. 購入物件所在地 契約前住所別推移

● 名古屋市（中区、東区以外）の居住者の75%が、同じエリア内で購入

◇ 前住所別に、購入した物件の所在地を見たところ、名古屋市（中区、東区以外）の居住者が、同じ「名古屋市（中区、東区以外）」の物件を購入した割合は75%で、2019年とほぼ同じであった。

■ 契約前住所別 購入物件所在地(直近4年間の推移)



※n数が100未満の категорияについては参考値。

(単位: %)
5-02-01-3

※前住所が「岐阜県」「三重県」のサンプルは、各年とも数件~20件程度のため、非掲載。

8. 購入価格

● 平均購入価格は4,297万円で、2003年以降で最も高い（09～16年データなし）

- ◇ 購入価格は「4,000～4,500万円未満」が33%で最も多く、次いで「3,500～4,000万円未満」が21%。平均購入価格は4,297万円で、2003年以降のデータのある範囲では最も高い。
- ◇ 購入物件所在地別にみると、名古屋市（中区、東区以外）の平均購入価格は4,418万円で、全エリア中最も高い。
- ◇ ライフステージ別にみると、子供あり世帯は全体と比べて「5000万円以上」の割合が高く、平均購入価格は4,591万円で最も高くなっている。
- ◇ 平均購入価格は、首都圏、関西圏より低くなっている。

■ 購入価格(全体／実数回答)

		2000万円未満	2000～2500万円未満	2500～3000万円未満	3000～3500万円未満	3500～4000万円未満	4000～4500万円未満	4500～5000万円未満	5000万円以上	無回答	平均(万円)
●凡例											
2020年契約者全体 (n=379)		0.5	5.3	10.3	20.6	32.5	14.8	15.8	0.3	4,297	
2019年契約者全体 (n=305)		0.3	6.9	16.4	29.5	19.0	12.8	13.1	1.0	4,082	
2018年契約者全体 (n=305)		0.3	7.2	18.4	26.6	19.3	14.4	11.8	0.7	4,006	
2017年契約者全体 (n=304)		0.3	6.6	20.4	28.9	16.4	10.5	15.8	0.3	4,061	
※2009～2016年はデータなし											
2008年契約者全体 (n=110)		3.6	10.0	33.6	26.4	11.8	9.1	1.8	3.6	—	3,232
2007年契約者全体 (n=232)		2.6	14.2	25.4	28.0	12.5	8.2	2.6	4.7	1.7	3,245
2006年契約者全体 (n=209)		5.3	14.8	30.1	22.5	16.3	3.8	2.9	2.4	1.9	3,086
2005年契約者全体 (n=122)		2.5	19.7	38.5	27.0	5.7	3.3	—	—	3.3	2,889
2004年契約者全体 (n=187)		7.0	22.5	33.7	16.0	12.3	4.8	2.1	1.1	10.5	2,941
2003年契約者全体 (n=117)		9.4	15.4	38.5	17.9	12.0	5.1	—	—	0.9	2,875
名古屋市(中区、東区)		(n=71)	4.2	11.3	22.5	29.6	14.1	16.9	1.4	4,305	
名古屋市(中区、東区以外)		(n=212)	0.5	5.2	7.5	16.0	36.8	16.5	17.5	—	4,418
愛知県(尾張エリア)		(n=47)	6.4	21.3	29.8	25.5	10.6	6.4	—	3,987	
愛知県(三河エリア)		(n=33)	6.1	30.3	27.3	15.2	21.2	—	—	4,311	
岐阜県		(n=13)	7.7	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7	—	3,427
三重県		(n=3)	—	33.3	66.7	—	—	—	—	—	4,121
シングル男性世帯		(n=29)	3.4	20.7	34.5	20.7	6.9	13.8	—	4,004	
シングル女性世帯		(n=43)	20.9	30.2	14.0	18.6	11.6	4.7	—	3,702	
夫婦のみ世帯		(n=142)	0.7	8.5	21.1	39.4	17.6	12.7	—	4,350	
子供あり世帯		(n=117)	0.9	6.0	17.9	33.3	13.7	26.5	0.9	4,591	
シニアカップル世帯		(n=22)	4.5	9.1	22.7	27.3	22.7	13.6	—	4,335	
既婚・共働きしている		(n=185)	0.5	1.6	8.6	19.5	36.2	16.8	16.8	—	4,418
世帯総年収1000万円以上		(n=41)	2.4	24.4	24.4	48.8	—	—	—	—	5,247
世帯総年収1000万円未満		(n=110)	0.9	2.7	10.9	25.5	40.0	11.8	8.2	—	4,168
既婚・共働きしていない		(n=96)	5.2	20.8	35.4	15.6	21.9	—	—	1.0	4,509
【参考】2020年首都圏契約者全体		(n=5139)	0.3	6.2	10.7	12.8	12.2	55.3	0.8	5,538	
2020年関西圏契約者全体		(n=974)	0.3	2.3	9.7	22.0	21.5	16.6	26.7	0.6	4,633

※n数が100未満の категорияについては参考値。

(単位: %)

5-02-11-3

9. 専有面積

● 平均専有面積は72.6㎡で、2003年以降で最も小さい（09～16年データなし）

- ◇ 専有面積は「70～75㎡未満」が最も多く29%。次いで「75～80㎡未満」が22%。平均専有面積は72.6㎡で、2003年以降のデータのある範囲では最も小さい。
- ◇ 購入物件所在地別にみると、名古屋市（中区、東区以外）の平均専有面積は73.3㎡で、全体とほぼ同じである。
- ◇ ライフステージ別にみると、平均専有面積が最も大きいのは子供あり世帯で、78.1㎡である。
- ◇ 平均専有面積は、首都圏、関西圏より大きくなっている。

■ 専有面積(全体/実数回答)

		50㎡未満	50～60㎡未満	60～70㎡未満	70～75㎡未満	75～80㎡未満	80～85㎡未満	85～90㎡未満	90～100㎡未満	100㎡以上	無回答	平均(㎡)
●凡例												
2020年契約者全体 (n=379)		4.7	7.1	13.5	28.8	21.9	13.7	18.5	5.0	1.6	1.8	72.6
2019年契約者全体 (n=305)		3.0	4.3	7.9	30.5	22.6	16.4	8.5	3.6	0.3	3.0	74.6
2018年契約者全体 (n=305)		2.6	5.6	10.2	31.1	19.0	14.4	8.9	5.9	1.3	1.0	74.6
2017年契約者全体 (n=304)		1.3	3.3	7.2	15.8	26.0	19.7	9.9	13.2	1.6	2.0	78.3
※2009～2016年はデータなし												
2008年契約者全体 (n=110)		1.8	4.5	13.6	15.5	16.4	13.6	17.3	11.8	5.5	—	84.0
2007年契約者全体 (n=232)		0.4	3.9	5.6	16.8	18.5	18.1	23.7	10.3	2.6	—	86.2
2006年契約者全体 (n=209)		1.9	2.4	3.8	22.5	17.2	11.5	24.9	12.4	3.3	—	85.2
2005年契約者全体 (n=122)		0.8	3.3	7.4	18.9	17.2	11.5	29.5	9.0	2.5	—	86.3
2004年契約者全体 (n=187)		1.1	4.3	5.9	16.6	17.6	17.6	20.9	15.0	1.1	—	86.3
2003年契約者全体 (n=117)		0.9	1.7	6.0	23.9	9.4	17.9	27.4	11.1	1.7	—	86.5
名古屋市(中区、東区) (n=71)		—	14.1	—	19.7	12.7	16.9	19.7	12.7	1.4	2.8	65.8
名古屋市(中区、東区以外) (n=212)		—	3.8	2.8	17.0	32.1	24.1	11.3	2.4	4.7	1.9	73.3
購入物件所在地別												
愛知県(尾張エリア) (n=47)		—	8.5	4.3	36.2	14.9	21.3	—	8.5	6.4	—	75.3
愛知県(三河エリア) (n=33)		—	9.1	18.2	27.3	21.2	6.1	12.1	6.1	—	—	79.9
岐阜県 (n=13)		—	23.1	7.7	38.5	7.7	7.7	—	—	15.4	—	67.9
三重県 (n=3)		—	—	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—	77.0
ライフステージ別												
シングル男性世帯 (n=29)		—	17.2	—	24.1	27.6	13.8	10.3	3.4	3.4	—	61.3
シングル女性世帯 (n=43)		—	23.3	—	20.9	11.6	14.0	14.0	9.3	2.3	4.7	62.8
夫婦のみ世帯 (n=142)		—	3.5	15.5	33.8	26.8	13.4	1.4	2.8	1.4	—	74.0
子供あり世帯 (n=117)		—	6.0	—	32.5	24.8	19.7	3.4	10.3	2.6	0.9	78.1
シニアカップル世帯 (n=22)		—	9.1	4.5	18.2	22.7	22.7	13.6	4.5	4.5	—	71.7
共働き状況別												
既婚・共働きしている												
世帯総年収1000万円以上 (n=41)		—	2.4	9.8	22.0	26.8	17.1	—	14.6	4.9	2.4	78.2
世帯総年収1000万円未満 (n=110)		—	4.5	11.8	34.5	28.2	13.6	0.9	3.6	1.8	0.9	74.5
既婚・共働きしていない (n=96)		1.0	9.4	—	36.5	25.0	17.7	3.1	4.2	2.1	1.0	75.6
【参考】												
2020年首都圏契約者全体 (n=5139)		8.4	8.8	27.3	36.1	9.5	2.1	0.7	4.1	0.9	2.0	67.3
2020年関西圏契約者全体 (n=974)		6.0	6.8	26.2	26.4	18.9	6.6	3.3	3.5	1.0	1.4	70.2

※n数が100未満のカテゴリーについては参考値。

(単位:%)

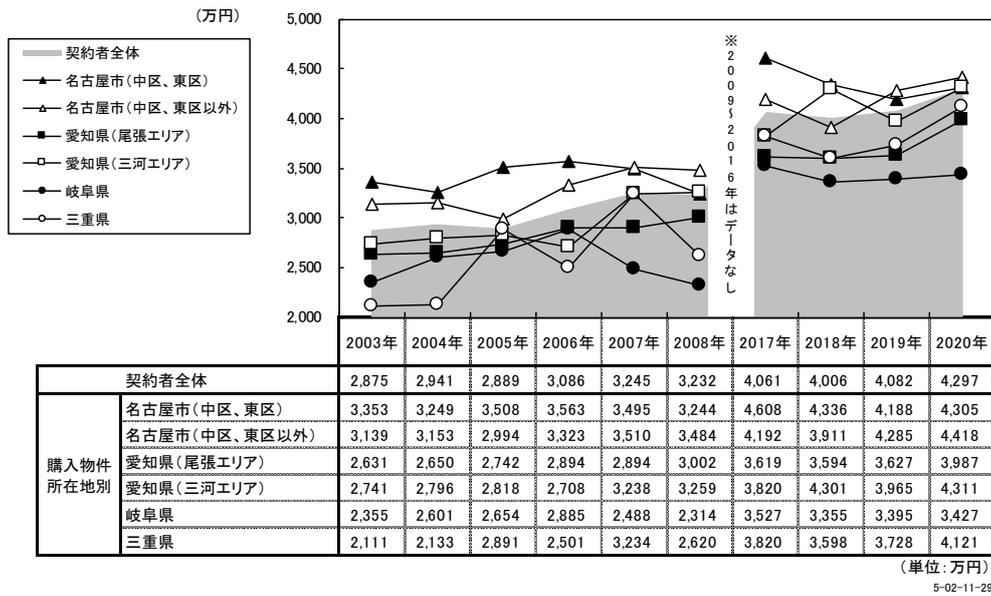
5-02-08-1

10. 購入価格と専有面積（購入エリア別）

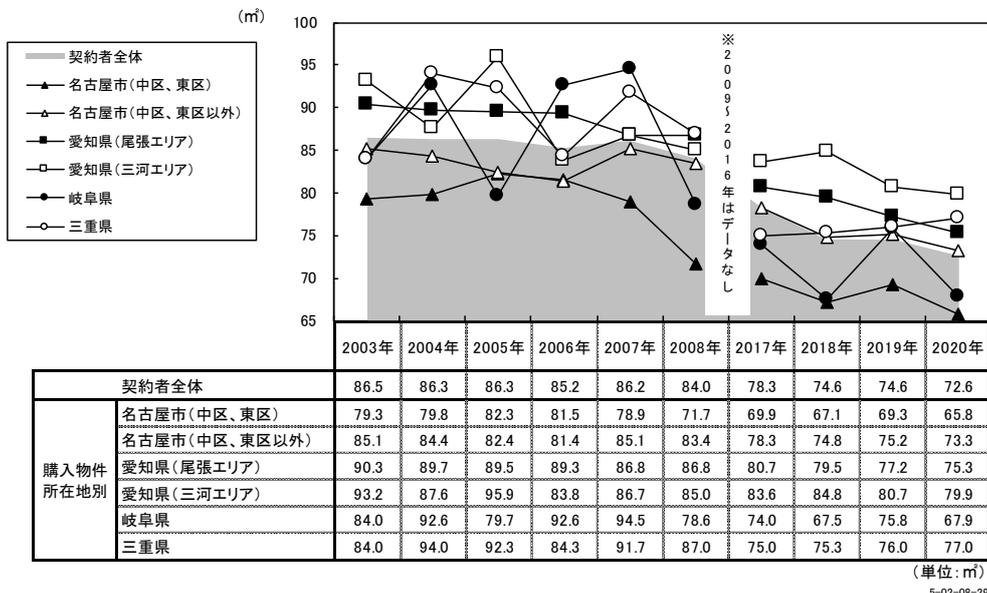
- 全体と同様に、名古屋市（中区、東区以外）でも、2003年以降で平均購入価格は最も高く、平均専有面積は最も小さくなった

- ◇ 購入物件所在地別に平均購入価格の推移をみると、全体と同様に、名古屋市（中区、東区以外）では、2003年以降で平均購入価格が最も高い。
- ◇ 購入物件所在地別に平均専有面積の推移をみると、全体と同様に、名古屋市（中区、東区以外）では、2003年以降で平均専有面積が最も小さい。

■ 購入物件所在地別 平均購入価格の推移



■ 購入物件所在地別 平均専有面積の推移



※20年サンプル数:「名古屋市(中区、東区)」(n71)、「名古屋市(中区、東区以外)」(n212)、「愛知県(尾張エリア)」(n47)、「愛知県(三河エリア)」(n33)、「岐阜県」(n13)、「三重県」(n3)。

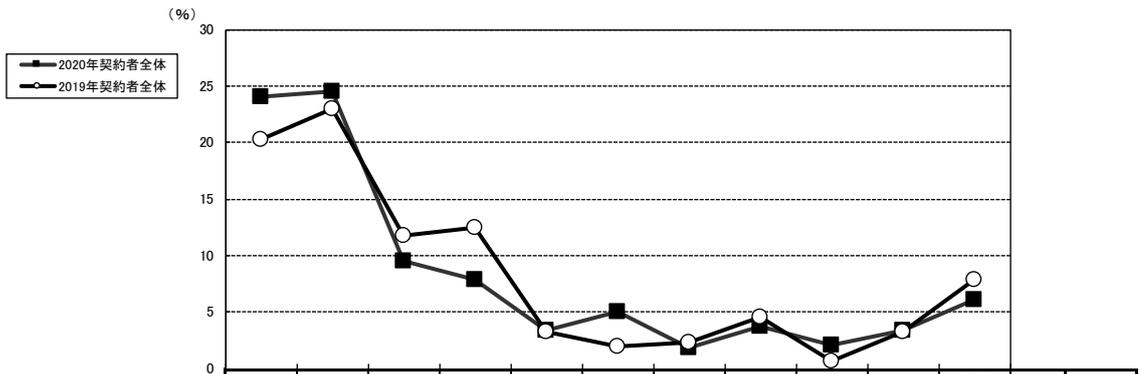
※n数が100未満の категорияについては参考値。

11. 自己資金比率

● 自己資金比率は平均16.0%、2003年以降で最も低い（09～16年データなし）

- ◇ 自己資金比率5%未満の割合が2019年より増加、自己資金比率は平均で16.0%となり、2003年以降で最も低くなった。
- ◇ ライフステージ別にみると、夫婦のみ世帯で自己資金比率の平均が最も低く、7.3%である。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別にみると、共働きをしている世帯では「0%」の割合が全体と比べて高く、自己資金比率の平均は9.0%と、全体より低くなっている。
- ◇ 自己資金比率の平均は、首都圏、関西圏よりやや低くなっている。

■ 自己資金比率(全体/実数回答)



		調査数	0%	5%未満	5~10%未満	10~15%未満	15~20%未満	20~25%未満	25~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50~100%未満	全額キャッシュ	無回答	平均(%)
2020年契約者全体		379	24.0	24.5	9.5	7.9	3.4	5.0	1.8	3.7	2.1	3.4	6.1	8.4	16.0
2019年契約者全体		305	20.3	23.0	11.8	12.5	3.3	2.0	2.3	4.6	0.7	3.3	7.9	8.5	17.8
2018年契約者全体		305	28.9	20.7	11.5	7.2	3.0	4.3	3.6	2.0	2.3	2.0	7.9	6.9	16.2
2017年契約者全体		304	17.4	21.7	12.8	12.5	4.9	2.6	4.3	4.6	3.3	3.9	6.6	5.3	18.4
※2009～2016年はデータなし															
2008年契約者全体		110	9.1	10.9	10.9	4.5	10.9	10.0	4.5	3.6	9.1	10.0	10.0	6.4	30.8
2007年契約者全体		232	6.5	11.2	9.1	10.3	9.9	8.6	6.9	11.6	4.3	8.6	8.2	4.7	29.1
2006年契約者全体		209	6.7	12.0	9.6	12.0	7.2	8.1	5.3	12.0	4.8	11.5	8.1	2.9	29.3
2005年契約者全体		122	8.2	16.4	9.8	6.6	3.3	10.7	4.1	8.2	7.4	11.5	9.8	4.1	30.6
2004年契約者全体		187	7.0	13.9	7.5	7.5	7.5	11.2	5.3	10.7	9.1	10.2	9.1	1.1	30.6
2003年契約者全体		117	7.7	13.7	12.0	9.4	4.3	10.3	4.3	12.8	6.0	12.0	6.0	1.7	27.5
ライフ ステージ 別	シングル男性世帯	29	17.2	27.6	10.3	—	3.4	10.3	3.4	13.8	3.4	—	10.3	—	22.1
	シングル女性世帯	43	7.0	18.6	18.3	9.3	2.3	9.3	2.3	7.0	2.3	4.7	18.3	4.7	29.2
	夫婦のみ世帯	142	28.2	33.8	9.2	6.3	3.5	2.8	1.4	2.1	0.7	2.1	0.7	9.2	7.3
	子供あり世帯	117	29.9	17.1	8.5	12.0	4.3	4.3	2.6	1.7	2.6	3.4	0.9	12.8	10.6
	シニアカップル世帯	22	9.1	13.6	—	9.1	—	9.1	—	4.5	9.1	9.1	36.4	—	52.1
共働き 状況別	既婚・共働きの世帯 世帯総年収1000万円以上	185	31.9	27.6	6.5	8.6	3.8	4.3	1.1	2.2	2.2	1.6	1.6	8.6	9.0
	世帯総年収1000万円未満	41	34.1	17.1	7.3	14.6	7.3	4.9	2.4	—	2.4	—	—	9.8	7.4
	既婚・共働きの世帯 世帯総年収1000万円未満	110	35.5	31.8	6.4	6.4	1.8	3.6	—	1.8	1.8	1.8	—	9.1	5.8
既婚・共働きの世帯 世帯総年収1000万円未満	96	18.8	20.8	11.5	9.4	3.1	3.1	3.1	2.1	2.1	6.3	7.3	12.5	19.8	
【参考】	2020年首都圏契約者全体	5139	16.0	25.9	12.6	10.1	4.9	4.8	3.0	4.0	2.6	3.3	7.0	5.8	17.9
	2020年関西圏契約者全体	974	21.1	19.5	12.9	8.3	6.0	2.9	2.9	2.8	2.1	5.1	9.1	7.3	20.4

50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上増加 / (属性別) 全体値より5ポイント以上高い / (首都圏・関西圏) 東海の全体値より5ポイント以上高い (単位: %)
 50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上減少 / (属性別) 全体値より5ポイント以上低い / (首都圏・関西圏) 東海の全体値より5ポイント以上低い

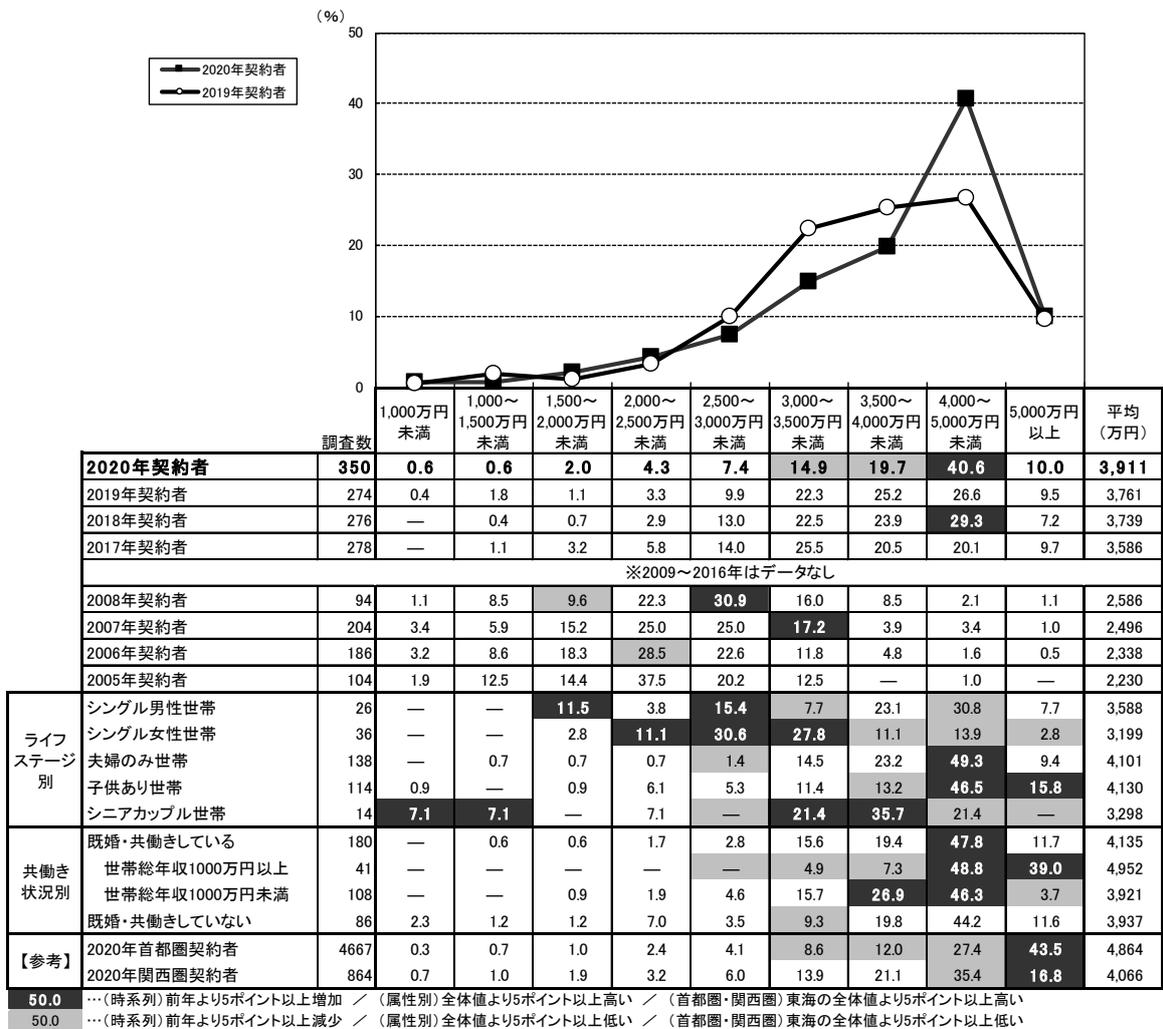
※n数が100未満のカテゴリについては参考値。

12. ローン借入額

● ローン借入総額は平均3,911万円、2005年以降で最も高い (09~16年データなし)

- ◇ ローン借入者を対象に借入総額をみると、「4,000~5,000万円未満」が最も多く41%、次いで「3,500~4,000万円未満」が20%。平均は3,911万円となり、2005年以降のデータがある範囲では最も高くなった。
- ◇ ライフステージ別にみると、夫婦のみ世帯や子供あり世帯は「4,000~5,000万円未満」の割合が全体に比べて高く、平均はどちらも4,000万円を超えている。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別にみると、共働きをしている方がローン借入総額（平均）が高い。
- ◇ ローン借入総額（平均）は、首都圏、関西圏より低くなっている。

■ ローン借入総額（ローン借入者／実数回答）



(単位: %) 5-03-04

※n数が100未満の категорияについては参考値。

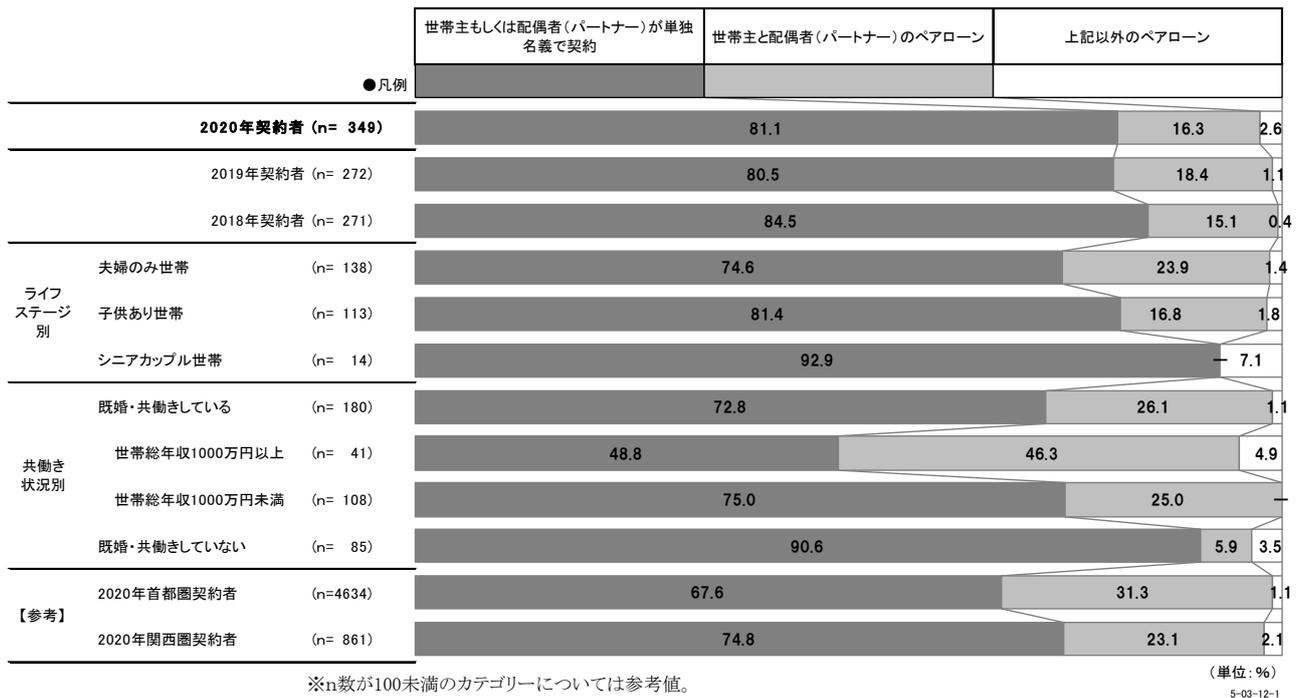
※ローン借入者: ローン借入総額の回答があり、かつ金額が0円でない者

13. ローン契約形態

● 世帯主と配偶者のペアローンが、全体で16%、既婚・共働き世帯では26%

- ◇ 住宅ローンの契約形態は、「単独名義で契約」が81%を占め、「世帯主と配偶者のペアローン」は16%で、2019年とほぼ同じである。
- ◇ ライフステージ別にみると、夫婦のみ世帯では「世帯主と配偶者のペアローン」が24%であり、全体に比べて高くなっている。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別にみると、共働きをしている世帯では「世帯主と配偶者のペアローン」が26%であり、全体に比べて高くなっている。
- ◇ 「世帯主と配偶者のペアローン」の割合は、首都圏、関西圏より低くなっている。

■ 住宅ローン契約形態（ローン借入者のみ。住宅ローンは利用していない・無回答を除く／単一回答）



※ローン借入者:ローン借入総額の回答があり、かつ金額が0円でない者

※住宅ローン契約形態は、2018年3月下旬に新設された項目のため、2018年契約者については、旧調査票での回答者は集計から除いている。

※住宅ローン契約形態は、以下のように尋ねているが、

- 4.住宅ローンは利用していないと回答した者、この質問に無回答だった者も集計から除いている。

Q19 住宅ローンについてお聞きます。

①契約形態は、次のどれにあてはまりますか。(該当するものを1つ選択し、番号に○)

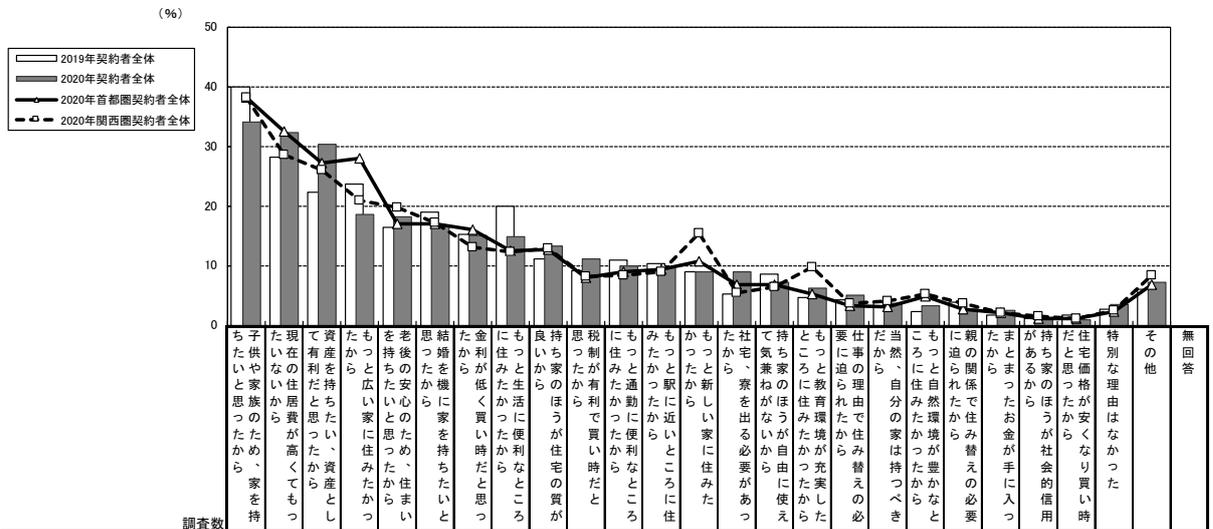
- 1.世帯主もしくは配偶者(パートナー)が単独名義で契約
- 2.世帯主と配偶者(パートナー)のペアローン
- 3.上記以外のペアローン
- 4.住宅ローンは利用していない

14. 住まいの購入理由

● 「資産を持ちたい、資産として有利」という購入理由が、2003年以降で最も多い

- ◇ 住まいの購入を思い立った理由は、「子供や家族のため、家を持ちたいと思ったから」が34%で最も多く、次いで「現在の住居費が高くてもったいないから」が32%。
- ◇ 2019年より増加したのは、「資産を持ちたい、資産として有利」という購入理由で、2003年以降で最も多くなった。反対に、2019年より減少したのは、「子供や家族のため、家を持ちたいと思ったから」「もっと広い家に住みたかったから」「もっと生活に便利なところに住みたかったから」などである。

■ 購入理由(全体／3つまでの限定回答) ※「2020年契約者全体」で降順ソート



調査数	子供や家族のため、家を持ちたいと思ったから	現在の住居費が高くてもったいないから	資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから	もっと広い家に住みたかったから	老後の安心のため、住まいを持ちたいと思ったから	結婚を機に家を持ちたいと思ったから	金利が低く買いたかったから	もっと生活に便利なお店があったから	良いから	持ち家のほうが住宅の質が良かったから	税制が有利で買いたかったから	もっと通勤に便利なお店があったから	みたかったから	もっと新しい家に住みたかったから	社宅、寮を出る必要があったから	持ち家のほうが自由に使えて気兼ねがないから	もっと教育環境が充実したところに住みたかったから	仕事の理由で住み替えの必要に迫られたから	当然、自分の家は持つべきだから	もっと自然環境が豊かなところに住みたかったから	親の関係を住み替えの必要に迫られたから	まとまったお金が入ったから	持ち家のほうが社会的信用が上がるから	住宅価格が安くなり買いたかったから	特別な理由はなかった	その他	無回答		
2020年契約者全体	379	34.0	32.2	30.3	18.5	18.2	16.6	15.0	14.8	13.2	11.1	10.0	9.8	9.0	9.0	7.1	6.1	5.0	3.7	3.2	2.6	2.4	1.3	0.8	3.4	7.1	0.5		
2019年契約者全体	305	40.0	28.2	22.3	23.6	16.4	19.0	15.1	20.0	11.1	9.2	10.8	10.2	8.9	5.2	8.5	4.6	4.3	3.9	2.3	3.9	1.6	1.0	1.6	2.6	5.9	1.3		
2018年契約者全体	305	43.6	24.6	21.0	20.3	15.4	17.7	18.4	17.0	16.7	10.2	8.9	11.8	12.1	7.5	6.9	5.9	3.6	3.0	1.6	2.6	1.3	1.3	2.6	3.0	4.3	—		
2017年契約者全体	304	45.4	24.7	20.1	16.8	15.8	15.5	25.3	17.4	13.5	6.6	10.9	13.2	8.9	6.9	6.6	10.2	6.6	3.3	2.6	3.3	0.7	1.6	1.3	3.6	6.9	0.3		
※2009～2016年はデータなし																													
2008年契約者全体	110	38.2	29.1	11.8	30.0	16.4	14.5	12.7	12.7	20.9	5.5	8.2	7.3	20.9	6.4	7.3	7.3	0.9	6.4	6.4	6.4	0.9	2.7	4.5	6.4	13.6	—		
2007年契約者全体	232	50.0	26.7	13.4	33.2	17.7	13.4	19.8	12.1	9.5	6.9	11.2	9.1	13.8	7.3	7.8	4.7	3.9	4.3	4.3	3.9	0.9	2.2	3.4	2.2	7.8	1.3		
2006年契約者全体	209	44.0	27.3	11.0	24.9	10.5	10.5	28.7	13.9	19.1	9.1	5.3	8.6	12.4	10.0	4.3	7.7	5.7	2.9	1.9	2.4	1.0	1.9	10.5	3.8	9.6	0.5		
2005年契約者全体	122	32.8	29.5	14.8	25.4	14.8	9.8	30.3	15.6	13.9	9.0	9.0	8.2	9.8	8.2	9.0	4.1	5.7	6.6	3.3	7.4	1.6	2.5	11.5	2.5	6.6	—		
2004年契約者全体	187	32.1	27.8	10.7	28.9	16.0	12.8	29.9	12.3	14.4	17.6	7.0	8.6	9.6	9.1	9.1	5.3	1.6	2.7	4.3	5.3	2.1	2.7	13.4	3.7	9.1	—		
2003年契約者全体	117	27.4	25.6	10.3	32.5	0.9	15.4	35.0	18.8	13.7	13.7	7.7	6.0	10.3	10.3	6.0	2.6	8.5	—	6.0	2.6	0.9	5.1	13.7	5.1	17.1	—		
購入物件所在地別	名古屋市(中区、東区)	71	28.2	29.6	43.7	23.9	19.7	15.5	15.5	15.5	14.1	11.3	5.6	8.5	9.9	4.2	7.0	4.2	5.6	7.0	2.8	2.8	1.4	2.8	—	2.8	7.0	—	
	名古屋市(中区、東区以外)	212	34.0	34.4	30.7	18.9	17.9	16.0	11.3	13.2	13.2	12.3	9.0	10.4	9.0	12.3	7.5	6.6	5.2	3.8	2.4	1.9	2.8	1.4	0.9	3.8	6.6	—	
	愛知県(尾張エリア)	47	38.3	29.8	17.0	6.4	17.0	19.1	25.5	23.4	17.0	4.3	12.8	12.8	4.3	6.4	6.4	4.3	6.4	2.1	4.3	6.4	—	—	—	2.1	10.6	—	
	愛知県(三河エリア)	33	45.5	36.4	15.2	27.3	9.1	21.2	30.3	12.1	9.1	6.1	21.2	9.1	12.1	6.1	9.1	3.0	3.0	—	6.1	—	6.1	—	—	6.1	3.0	—	
	岐阜県	13	23.1	15.4	38.5	7.7	30.8	15.4	—	—	—	7.7	30.8	7.7	—	—	—	—	—	—	—	7.7	—	—	7.7	—	7.7	15.4	
三重県	3	33.3	—	33.3	—	—	—	—	66.7	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—	
ライフステージ別	シングル男性世帯	29	—	27.6	51.7	17.2	24.1	—	17.2	20.7	10.3	13.8	17.2	10.3	13.8	3.4	3.4	—	3.4	3.4	3.4	—	—	3.4	—	10.3	17.2	3.4	
	シングル女性世帯	43	4.7	27.9	51.2	16.3	41.9	2.3	11.6	4.7	16.3	14.0	9.3	9.3	11.6	4.7	11.6	4.7	4.7	4.7	7.0	9.3	4.7	2.3	—	—	14.0	2.3	
	夫婦のみ世帯	142	24.6	34.5	29.6	16.2	11.3	35.9	18.3	10.6	18.3	15.5	9.9	7.7	7.0	10.6	8.5	3.5	5.6	4.2	2.1	0.7	1.4	1.4	1.4	4.2	2.1	—	
	子供あり世帯	117	68.4	34.2	20.5	26.5	10.3	6.8	12.8	12.0	10.3	6.0	9.4	11.1	7.7	13.7	3.4	13.7	—	5.1	3.4	2.6	1.7	2.6	0.9	0.9	—	3.4	—
	シニアカップル世帯	22	9.1	22.7	18.2	4.5	45.5	4.5	4.5	45.5	4.5	—	—	18.2	22.7	—	13.6	—	9.1	4.5	9.1	4.5	—	—	—	9.1	22.7	—	
共働き状況別	既婚・共働きしている	185	38.9	31.9	25.9	18.9	13.5	25.9	19.5	10.8	12.4	10.8	9.7	8.6	8.1	7.6	8.1	5.9	5.4	3.8	3.2	1.1	1.1	1.1	1.1	3.8	4.3	—	
	世帯総年収1000万円以上	41	39.0	29.3	24.4	17.1	7.3	26.8	17.1	12.2	14.6	7.3	9.8	12.6	7.3	9.8	17.1	7.3	4.9	—	2.4	—	2.4	2.4	—	7.3	4.9	—	
	世帯総年収1000万円未満	110	40.0	29.1	27.3	25.5	14.5	25.5	22.7	10.9	13.6	12.7	10.0	7.3	8.2	6.4	3.6	3.6	5.5	4.5	2.7	1.8	—	0.9	1.8	3.6	3.6	—	
既婚・共働きしていない	96	46.9	36.5	22.9	20.8	13.5	12.5	6.3	19.8	16.7	9.4	7.3	12.5	9.4	17.7	4.2	10.4	6.3	4.2	2.1	2.1	3.1	1.0	1.0	1.0	4.2	—		
【参考】	2020年首都圏契約者全体	5139	38.1	32.5	27.1	28.0	16.9	16.9	16.0	12.5	12.6	7.9	8.9	9.4	10.6	6.8	6.8	5.2	3.3	3.0	4.9	2.6	2.0	1.0	1.0	2.3	6.8	1.1	
	2020年関西圏契約者全体	974	38.2	28.6	25.9	20.8	19.7	17.2	13.0	12.3	12.9	8.2	8.4	9.0	15.3	5.4	6.3	9.7	3.7	4.1	5.1	3.7	2.1	1.4	1.1	2.5	8.3	1.1	

60.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (風性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏・関西圏)東海の全体値より5ポイント以上高い
 50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (風性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏・関西圏)東海の全体値より5ポイント以上低い (単位:%)

※n数が100未満の категорияについては参考値。

15. 暮らし方のイメージ

● 通勤利便や居住空間のゆとりなどを求めた割合が、2019年より増加

- ◇ 住まい探しにあたって求めた暮らし方のイメージで最も多いのは、「仕事や通勤に便利」で39%。以下、「日々の生活がしやすい」(37%)、「居住空間にゆとりがある」(35%)と続く。
- ◇ 2019年と比べると、「仕事や通勤に便利」「居住空間にゆとりがある」などを期待した割合が増加した。
- ◇ ライフステージ別にみると、夫婦のみ世帯では「共働きがしやすい」「ペットとの暮らしが楽しめる」など、子供あり世帯では「日々の生活がしやすい」「子育て・教育がしやすい」「家族のだんらんが得られる」などへの期待が、全体に比べて高い。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別にみると、共働きをしている世帯では「共働きがしやすい」などへの期待が、全体に比べて高い。

■ 暮らし方のイメージ(全体/5つまでの限定回答) ※50項目中、2020年の上位30項目を表示

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	30	30			
	仕事や通勤に便利	日々の生活がしやすい	居住空間にゆとりがある	日々の生活がしやすい	買い物に便利である	子育て・教育がしやすい	各方面にアクセスが良い	見晴らしや眺望が良い	安全な暮らしができる	心のゆとりが得られる	都心に近い	家事がしやすい	休日を楽しめる	共働きがしやすい	ペットとの暮らしが楽しめる	時間のゆとりが得られる	親族・友人が呼べる	緑のある暮らしが楽しめる	都会的な暮らしが楽しめる	高級感がある	家族のだんらんが得られる	快適な一人暮らしができる	静かな生活ができる	ゆとりくお風呂を楽しめる	生活様式の変化に合わせられる	整理整頓しやすい	高齢者に快適な暮らしができる	おしゃやかな暮らしができる	親の面倒をみやすい	活動的に暮らせる					
2020年契約者全体	370	38.5	36.9	34.6	29.0	26.8	26.2	26.6	20.3	19.3	18.2	15.0	14.5	10.3	9.5	9.5	8.7	8.7	7.4	7.1	6.6	6.3	6.1	5.8	5.8	5.5	5.3	4.5	4.2	4.0	4.0	4.0			
2019年契約者全体	305	33.4	35.4	26.6	25.2	28.5	29.5	26.6	16.1	21.0	18.0	15.1	16.4	13.8	11.8	7.2	11.5	8.5	7.2	8.9	5.6	5.2	6.6	6.6	2.6	5.6	3.3	3.3	4.6	5.2	4.6	4.3	1.6		
2018年契約者全体	305	39.0	40.0	28.9	22.6	37.4	27.2	31.5	14.8	18.0	20.7	13.1	15.4	14.4	10.5	5.6	8.2	6.2	4.3	5.9	2.6	8.2	9.2	4.9	2.0	5.6	1.3	1.6	4.3	3.9	4.6	3.6	1.6		
2017年契約者全体	304	38.2	41.4	28.9	19.4	27.6	42.1	27.3	17.4	21.4	17.8	14.5	12.8	9.9	8.6	6.6	12.2	7.9	7.2	5.9	7.6	4.3	8.2	9.5	2.3	7.9	6.9	3.6	3.6	5.3	2.6	3.6	3.0		
※2009～2016年はデータなし																																			
2008年契約者全体	110	27.3	26.4	43.6	31.8	17.3	26.4	13.6	18.2	20.9	20.9	4.5	21.8	6.4	2.7	11.8	4.5	9.1	9.1	14.5	5.5	3.6	10.9	12.7	5.5	7.3	13.6	4.5	5.5	0.9	8.2	7.3	1.8		
2007年契約者全体	232	31.5	27.6	36.2	22.0	24.6	26.3	23.7	24.1	18.1	20.7	9.9	14.7	6.5	4.7	10.8	3.4	13.8	9.1	10.8	3.9	6.5	7.3	12.5	3.0	11.6	11.6	4.3	8.2	4.3	7.8	5.2	4.3		
2006年契約者全体	209	32.1	27.3	34.9	26.8	18.2	30.6	23.0	25.4	19.6	22.0	15.3	12.4	7.2	6.7	10.0	5.7	10.0	7.2	9.6	1.9	7.7	12.4	10.0	2.4	9.1	12.0	2.4	4.8	4.8	4.3	2.9	3.8		
2005年契約者全体	122	27.9	27.0	36.1	20.5	17.2	19.7	28.7	25.4	18.9	23.8	11.5	14.8	4.9	2.5	9.8	6.6	17.2	9.0	9.8	3.3	7.4	6.6	11.5	3.3	6.6	13.1	5.7	8.2	7.4	4.9	8.2	10.7		
2004年契約者全体	187	27.8	31.6	47.1	26.7	19.8	19.8	23.0	21.4	20.3	21.4	8.0	12.3	4.8	4.8	11.8	5.9	12.3	7.5	11.8	7.5	9.1	10.7	8.6	8.0	10.7	15.5	3.2	7.5	2.7	10.2	5.3	7.5		
2003年契約者全体	117	25.6	35.9	35.9	22.2	24.8	20.5	20.5	16.2	16.2	26.5	12.8	13.7	5.1	7.7	8.5	6.8	12.8	8.5	17.9	4.3	12.8	11.1	10.3	0.9	11.1	11.1	6.8	8.5	0.9	6.8	3.4	2.6		
ライフステージ別																																			
シングル男性世帯	29	24.1	24.1	17.2	17.2	—	37.9	17.2	17.2	20.7	37.9	10.3	13.8	—	6.9	10.3	13.8	17.2	6.9	6.9	17.2	6.9	—	41.4	10.3	6.9	—	3.4	—	10.3	—	10.3			
シングル女性世帯	43	44.2	27.9	41.9	37.2	18.6	2.3	20.9	23.3	16.3	20.9	14.0	25.6	9.3	—	11.6	4.7	11.6	9.3	7.0	2.3	4.7	7.0	—	20.9	9.3	9.3	7.0	4.7	9.3	4.7	4.7	4.7		
夫婦のみ世帯	142	40.8	37.3	38.7	30.3	28.9	19.0	24.6	23.9	12.0	19.0	14.1	12.7	10.6	15.5	15.5	11.3	7.7	2.8	7.0	9.2	5.6	7.7	5.6	—	5.6	5.6	4.2	4.2	0.7	2.1	4.9	4.2		
子供あり世帯	117	42.7	41.9	33.3	31.6	29.9	63.2	23.9	15.4	22.2	12.8	11.1	15.4	12.0	11.1	2.6	7.7	8.5	6.8	7.7	6.0	4.3	5.1	11.1	—	2.6	3.4	5.1	5.1	0.9	3.4	1.7	2.6		
シニアカップル世帯	22	54.5	13.6	9.1	50.0	—	36.4	22.7	45.5	27.3	18.2	—	4.5	—	18.2	4.5	4.5	18.2	—	4.5	9.1	4.5	—	—	4.5	—	9.1	4.5	36.4	13.6	9.1	—	—		
共働き状況別																																			
既婚・共働きしている	185	41.6	38.4	35.7	26.5	32.4	33.0	25.4	20.5	15.7	19.5	14.6	12.4	11.9	17.8	9.2	11.4	7.6	4.3	5.9	6.5	5.9	7.0	6.5	—	3.8	4.3	4.3	3.8	2.2	3.2	5.4	3.2		
世帯総年収1000万円以上	41	41.5	34.1	36.6	24.4	39.0	41.5	19.5	24.4	22.0	19.5	22.0	4.9	14.6	14.6	9.8	7.3	4.9	4.9	9.8	4.9	12.2	—	—	7.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4		
世帯総年収1000万円未満	110	43.6	37.3	40.0	27.3	27.3	27.3	29.1	18.2	13.6	21.8	11.8	15.5	11.8	20.0	7.3	14.5	9.1	2.7	8.2	5.5	6.4	5.5	9.1	—	3.6	5.5	5.5	4.5	0.9	2.7	4.5	2.7		
既婚・共働きしていない	96	37.5	44.8	32.3	34.4	28.1	41.7	25.0	19.8	25.0	12.5	10.4	13.5	8.3	2.1	12.5	5.2	8.3	8.3	8.3	9.4	4.2	5.2	9.4	—	5.2	4.2	6.3	6.3	4.2	1.0	3.1			
【参考】																																			
2020年首都圏契約者全体	5139	35.3	35.7	33.1	23.4	29.0	32.6	21.3	18.0	14.9	19.3	14.9	11.3	13.4	10.3	8.0	7.6	8.5	5.5	4.1	7.8	4.5	7.8	8.5	5.5	7.5	3.6	5.3	5.9	3.1	4.3	3.6	2.7		
2020年関西圏契約者全体	974	33.2	36.3	29.9	24.3	26.2	34.8	25.5	16.6	18.5	20.2	9.4	13.3	11.3	10.3	7.4	9.0	8.4	7.1	5.5	7.2	4.1	7.3	7.8	5.9	11.4	4.7	4.3	6.1	4.5	3.9	3.6	2.3		
		50.0	(時系列)前年より5ポイント以上増加	(時系列)前年より5ポイント以上減少	(属性別)全体値より5ポイント以上高い	(属性別)全体値より5ポイント以上低い	(首都圏・関西圏)東海の全体値より5ポイント以上高い	(首都圏・関西圏)東海の全体値より5ポイント以上低い																											

※n数が100未満のカテゴリーについては参考値。

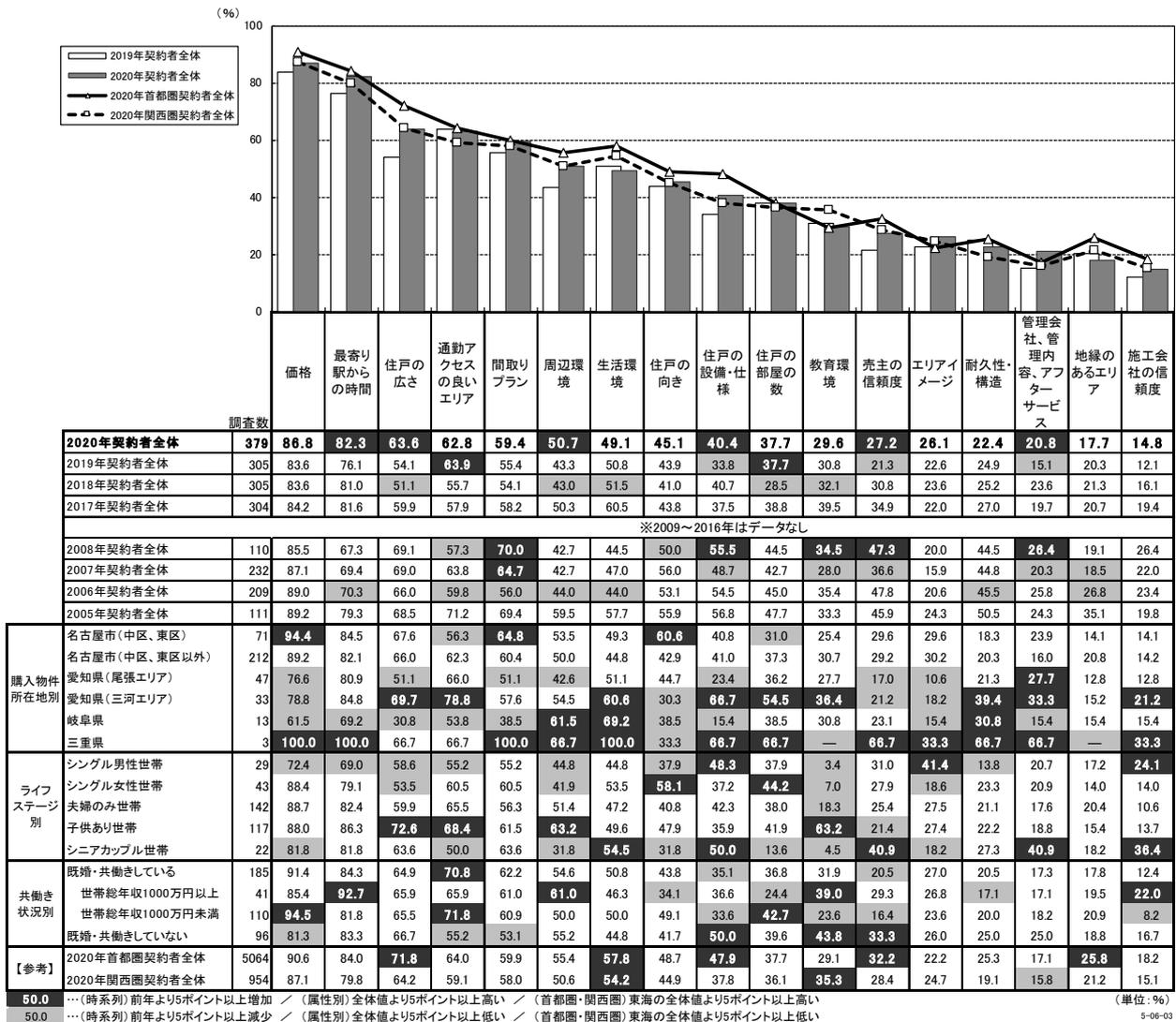
※調査票では、「Q.期待していた生活のイメージに近いものを下欄からお選びください。」と尋ねている。

16. 重視項目

● 「最寄り駅からの時間」の重視度が、2003年以降で最も高い

- ◇ 物件を検討するうえで重視した項目は、「価格」が87%で最も高い。以下、「最寄り駅からの時間」（82%）、「住戸の広さ」（64%）などが続く。2019年と比べ、「最寄り駅からの時間」「住戸の広さ」「周辺環境」「住戸の設備・仕様」「売主の信頼度」「管理会社、管理内容、アフターサービス」などを重視した割合が増加した。中でも、「最寄り駅からの時間」を重視した割合は、2003年以降で最も高くなった。
- ◇ ライフステージ別にみると、子供あり世帯では「住戸の広さ」「通勤アクセスの良いエリア」「周辺環境」「教育環境」などを重視した割合が、全体に比べて高くなっている。
- ◇ 東海圏では、首都圏と比べると「住戸の広さ」「生活環境」「住戸の設備・仕様」「売主の信頼度」「地縁のあるエリア」など、関西圏と比べると「生活環境」「教育環境」などを重視した割合が低い。

■ 購入重視項目(全体、無回答を除く/複数回答) ※「2020年契約者全体」で降順ソート



50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏・関西圏)東海の全体値より5ポイント以上高い (単位:%)
 50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏・関西圏)東海の全体値より5ポイント以上低い

※n数が100未満のカテゴリーについては参考値。

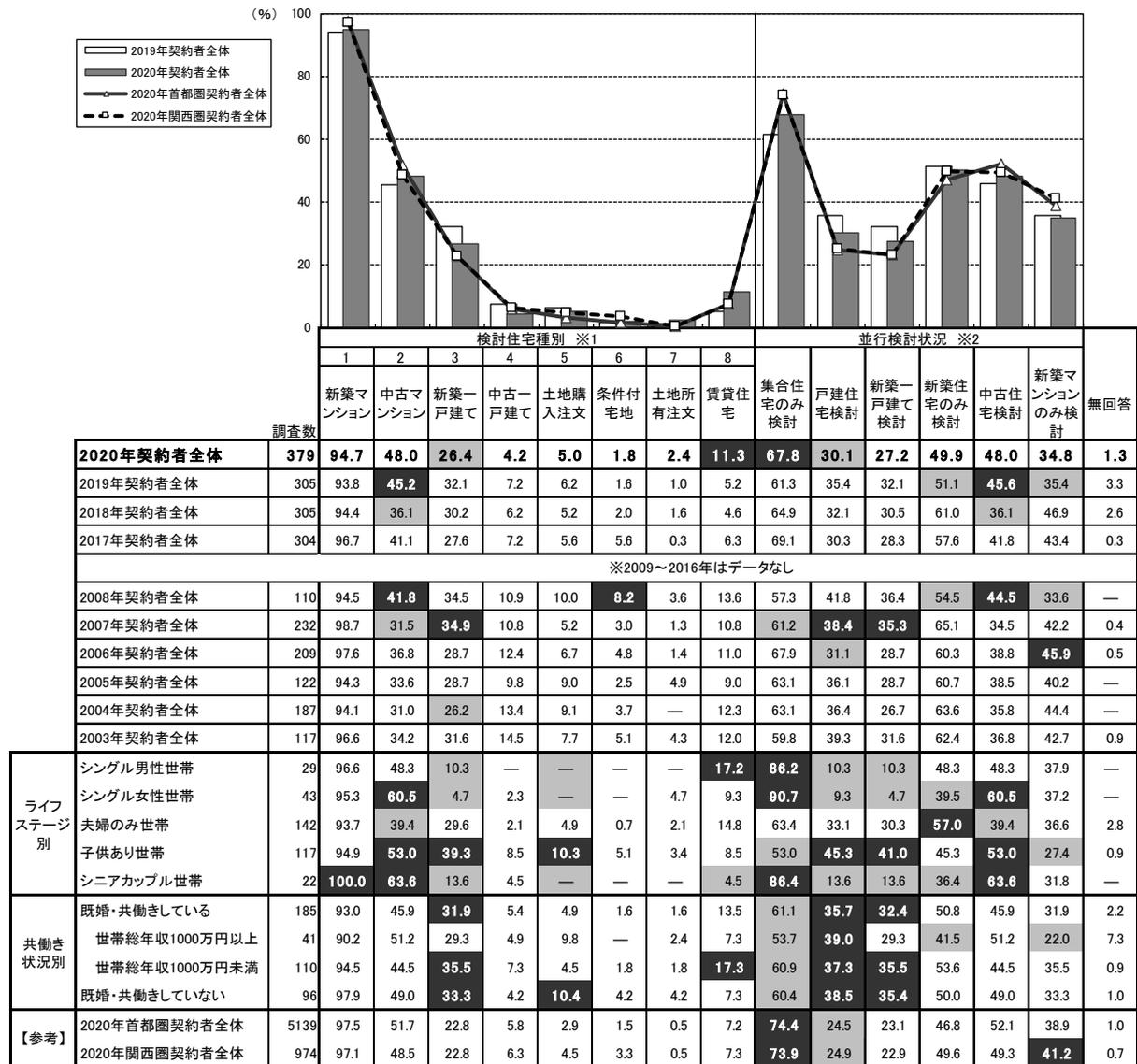
※購入重視項目は2006年まで二次調査項目のため、2006年契約者までは二次調査回答者ベースとなっている。

17. 検討住宅種別

● 中古マンション並行検討率48% 2003年以降で最も高い(09~16年データなし)

- ◇ 具体的に検討した住宅の種別をみると、新築マンション以外では「中古マンション」が最も多く、48%。2003年以降のデータのある範囲では最も高くなった。また、並行検討状況をもとに、「中古住宅検討」の割合は2003年以降で最も高く、反対に「新築住宅のみ検討」「新築マンションのみ検討」は最も低くなった。
- ◇ ライフステージ別にみると、子供あり世帯で「新築一戸建て」を検討する割合が、全体と比べて高い。
- ◇ 首都圏、関西と比べると、東海は「集合住宅のみ検討」「新築マンションのみ検討」の割合が低く、並行して「戸建住宅検討」「新築一戸建て検討」する割合が高くなっている。

■ 具体的に検討した住宅種別(全体/複数回答)



*…該当項目なし

50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏・関西圏)東海の全体値より5ポイント以上高い
 50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏・関西圏)東海の全体値より5ポイント以上低い

5-05-03

※1 <検討住宅種別について>

新築マンション契約者が、具体的に検討した住宅を種別ごとに集計(選択肢の文言に関する補足)

5「土地購入注文」	建築条件なしの土地を購入して注文建築
6「条件付宅地」	建築条件付の土地*を購入して注文建築(*施工会社があらかじめ決まっている土地)
7「土地所有注文」	所有している土地に注文建築
8「賃貸住宅」	2004年契約者から選択肢を追加

※n数が100未満の категорияについては参考値。

※2 <並行検討状況について>

新築マンション契約者が、並行して検討した住宅の分野ごとに集計(分野に関する補足:賃貸住宅を除く検討住宅種別(1~7)の選択状況によって、下記の通り分類)

集合住宅のみ検討	1または2に○、3~7のいずれも×
戸建住宅検討	3~7のいずれかに○
新築一戸建て検討	3または6に○
新築住宅のみ検討	1、3、5、6、7のいずれかに○、2、4のいずれも×
中古住宅検討	2または4に○
新築マンションのみ検討	1のみに○、2~7のいずれも×

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万5,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2019年度の売上収益は2兆3,994億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.co.jp/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>